

平成24年度 第3回 役員会議事要旨

日 時 平成24年4月25日(水) 10時30分～10時57分

場 所 学長室

出席者 学長, 瀬口理事, 中島理事, 岩本理事, 宮崎理事

欠席者 緒方理事

陪席者 川上監事, 向井監事, 後藤学長室長

○ 学長から, 平成23年度第28回の役員会議事要旨の確認依頼があった。

【 審議事項 】

(1) 臨時特例(減給支給)に係る対応について

学長から, 本学の臨時特例(減給支給)への対応については, 平成24年4月11日開催の役員会において, 本学の方向性を検討し, 4月18日開催の役員会において, 本年5月1日付け実施に向けた作業を開始することが了承されたこと, また, 4月19日付けの経営協議会構成員への持ち回り審議により, 本学の臨時特例(減給支給)への対応を本年5月1日付けで実施することが了承されている旨の説明があった。

また, 総務部長から, 4月18日開催の役員会以降, 教職員組合との団体交渉(2回), 過半数代表者への説明(2回)及び人事制度委員会への附議・検討を行ったこと, また, 最終決定後, 教職員への説明会を実施する予定であることの説明があった。

さらに, 人事課長から, 医学部附属病院の過半数代表者から寄せられた意見により, 新たに, 除外職員として扱うことが適切であると判断された対象者について説明があり, 審議の結果, 除外職員の追加を含み, 対応方針及び規程改正(案)が了承された。

(2) 平成24年度評価反映特別経費の予算配分要領(案)について

学長から, 本件について, 今後の国立大学の改革については, 個々の大学において個性や使命の明確化を図り, 展開することが求められていることから, 本学においても, 本学の特色, 強みを生かした取り組みを推進するため, 部局の当該取組みとPDCAサイクルに基づく成果(アウトカム)に対する評価(事業の評価)及びIR機能を活用した情報に基づく評価(業務の評価)を行い配分するための案件である旨の説明があった。

また、財務部長から、平成24年度評価反映特別経費に係る予算額、配分対象、配分時期及び配分方法等予算配分要領（案）について、昨年度との変更点等の説明があり、審議の結果了承された。

(3) 平成25年度概算要求事項（施設整備費補助金及び施設費交付事業費）について

中島理事から、本件について、平成25年度概算要求（施設整備費補助金及び施設費交付事業費）に関する案件であり、部局から要求のあった事項に対し、①佐賀大学第2期中期目標・中期計画、②第3次国立大学法人等施設整備5か年計画、③平成24年度施設整備予算案の実績を踏まえ、平成24年3月14日の施設マネジメント委員会において審議・選定したこと、平成25年度概算要求の基本的方針としては、附属病院の再整備、耐震性能が低い等安全上支障がある施設の優先的整備、老朽施設の機能改善としていること等の説明があり、協議の結果了承され、後日開催の経営協議会及び同協議会後の役員会で審議することとなった。

(4) その他

特になし。

【 報告事項 】

(1) 平成24年度会計監査人候補者について

岩本理事から、本件について、平成24年度会計監査人候補者については、4月12日に開催した会計監査人候補者選考会議において、23事業年度の会計監査人の監査業務の内容及び平成24年度の会計監査人の資格等について問題がないことを確認し、引き続き「新日本有限責任監査法人」を会計監査人候補者として承認した旨の報告があった。

(2) その他

特になし。

【 その他 】

学長から、最近の国立大学法人を取り巻く状況について、国大協及び文部科学省から得た情報として、国家公務員の給与特例（減額支給）の取り

組みについて、国立大学法人の対応が遅いのではないかと批判があげられていること、また、国大協も文部科学省も、各大学に対し、大学の判断で早目の対応を行ってほしい旨要請していること。大学改革タスクフォースについて、「国立大学改革強化推進事業」（138億円）は、大学再編を行なう上での交換条件のようなもので、キーワードは「連携」であることや国立大学運営費交付金などのメリハリある配分など、教育改革の必要性が指摘されていること。さらに、総理から、文部科学大臣に対し、社会構造の変化を踏まえた教育システムの改革についての取組方針を報告するよう指示があげられていること等の報告があった。

以 上